



平成 18 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 日本空港ビルデング株式会社
代表者名 取締役社長 鷹 城 勲
(コード番号 9706 東証第 1 部)
問合せ先 専務取締役 石 黒 正 吉
(TEL. 03-5757-8025)

平成 19 年 3 月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 5 月 17 日の決算発表時に公表した平成 19 年 3 月期中間期及び通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

なお、平成 19 年 3 月期中間期及び通期個別業績予想の修正につきましては、平成 18 年 10 月 18 日に発表いたしております。

記

1. 平成 19 年 3 月期中間期 連結業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(金額の単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	63,200	2,800	1,300
今 回 発 表 予 想 (B)	66,200	3,800	1,700
増 減 額 (B-A)	3,000	1,000	400
増 減 率 (%)	4.7	35.7	30.8
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期中間)	61,371	2,347	1,289

2. 平成 19 年 3 月期通期 連結業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(金額の単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	125,700	5,200	2,700
今 回 発 表 予 想 (B)	129,300	5,600	2,800
増 減 額 (B-A)	3,600	400	100
増 減 率 (%)	2.9	7.7	3.7
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期通期)	123,235	4,572	2,515

3. 修正の理由

当中間期におきましては、不安定な国際情勢や燃油価格の高騰等により航空業界は厳しい状況で推移したものの、国内線及び国際線航空旅客数が当初予想を上回って堅調に推移したことに加え、成田国際空港における新設店舗への卸売上の増加及び羽田－金浦間国際旅客チャーター便の増便に伴う羽田空港（東京国際空港）免税店売上の増加等により、商品売上高は当初計画を上回る見込みとなりました。また、利益面につきましても、売上高の増加及び修繕費等の下期への先送り等もあり、当初計画を上回る見込みとなりましたので、中間期連結業績予想の修正を行なうものであります。

通期におきましては、家賃収入及び施設利用料収入が引き続き堅調に推移するものと予想され、商品売上高につきましても、不安定な国際情勢に伴う免税品等の機内持込制限による影響が予想されるものの、国内線及び国際線航空旅客需要が引き続き堅調に推移すると見込まれ、当初計画を上回るものと予想されます。また、利益面につきましては、羽田空港第1旅客ターミナルビルのさらなる利便性向上等を図るための改修工事に伴う修繕費等の増加が見込まれるものの、中間期連結業績予想の修正等もあり、当初計画を上回る見込みとなりましたので、通期連結業績予想の修正を行なうものであります。

なお、平成19年3月期中間連結決算発表につきましては、平成18年11月15日を予定しております。

※ 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上